



神奈川の大学を卒業後、地元八戸へUターン



インタビュー
青森県立八戸商業高等学校
2年 田端 美空さん

田端さん
まず、Uターン就職しようと思ったのはなぜですか？

神奈川の大学に通っていて、そのまま首都圏で就職するか迷っていたんです。でも、自分の人生の幸せを考えたとき、青森で暮らすほうが自分らしいと思い、就職のタイミングで帰ってきました。親の近くで暮らしたいこと、釣りなど好きなことを大切にしたいと思ったのも理由です。関東には遊びに行けばいいかなって。



インタビュー
青森県立八戸商業高等学校
2年 岩館 晴道さん

岩館さん
入社したきっかけは何ですか？

もともとアイスホッケーをやっていたので、会社名とホッケーのチームがあることは知っていました。営業職の募集があったこと、大きな会社で安定していることが決め手になりました。



田端さん
営業職ってどうのことをするんですか？

お客さんのところに行って商品を買ってもらうために見積もりを出したり、提案をしたりしてコミュニケーションをしながら、注文を獲得するような活動が営業です。



岩館さん
仕事を探すときに大切にしていたことはありますか？

自分がやりたい営業職に就けるかどうかが一番でした。加えて、給与や福利厚生、長く働ける環境かどうかも総合的に考えました。



田端さん
大学で心理学を学んでいても、営業職に就けるんですか？

たぶん、大学で学んだことをそのまま仕事に活かせる人って実はそんなにいないんじゃないかなって思います。専門職や資格を必要とする仕事でなければ、結構なんでもできると思いますよ。

田名部さん



田名部さん



田名部さん



建築資材の営業として、八戸近郊の建築に携わる



田端さん
現在の仕事内容を教えてください。

建築資材の営業をしています。ビルや公共施設などの外壁や屋根、鉄骨といった資材を建設業者に提案し、受注につなげる仕事です。



岩館さん
どうやって仕事を覚えていったんですか？

最初は先輩社員に同行し、商談の進め方を学びました。半年ほどで徐々に一人で任せられるようになりました。失敗もありましたが、上司のフォローを受けながら乗り越えられました。



田端さん
仕事のどんなところにやりがいを感じますか？

自分が携わった建物が街に残ることです。「あれは自分が関わった」と思える瞬間は誇らしいですね。お客様から「頼んでよかった」と言ってもらえたときも本当にうれしいです。

田名部さん



田名部さん



田名部さん



自然に囲まれた青森だから自分らしく暮らせる



田端さん
青森で暮らしていてよかったことはありますか？

車通勤で満員電車がいないことや、自然が豊かで過ごしやすいことですね。一人暮らしを経験して、帰ったらご飯があるって幸せだなと感じたので、親と一緒に暮らせるのがありがたいです。



岩館さん
休日はどのように過ごしていますか？

趣味の釣りやゴルフを楽しんだり、友人と食事に行ったりしています。青森は海も山も近いので、趣味を満喫できます。



田端さん
今後の目標を教えてください。

仕事では後輩を育てられる存在になることです。プライベートでは結婚して、いつか自分の家を建てたいですね。



岩館さん
最後に、高校生へメッセージをお願いします。

勉強でも部活でも遊びでも、やりたいことを一生懸命やってほしいです。自分が好きだと思えることを大切にすれば、それが将来につながります。悔いなく、高校生活を楽しんでほしいです。

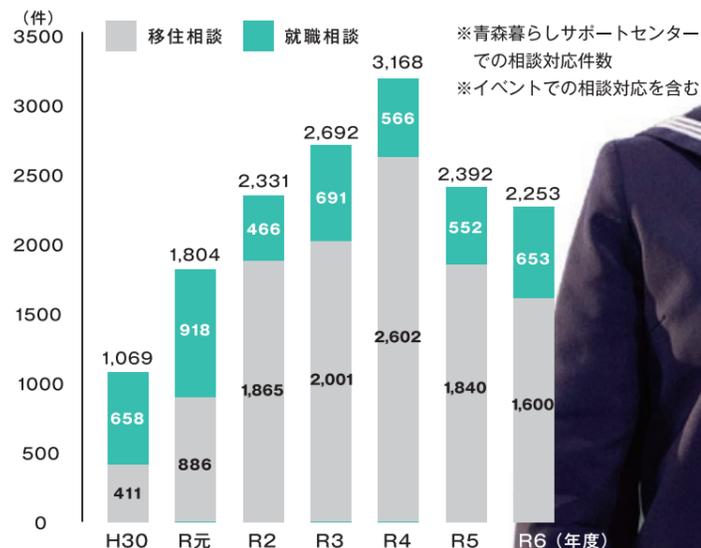
田名部さん



DATA

いつか青森で暮らしたい

県外からも青森へのUターンや移住に向け、動き始める人が増加！



株式会社吉田産業 八戸ブロック 建築課 建築第3グループ 田名部 光平さん

八戸市出身。八戸商業高等学校を卒業後、神奈川大学に進学。就職を機に2020年Uターンし、吉田産業へ入社。趣味の釣りは父の影響で始め、休日には県外まで釣りに行くことも。

田名部さんのプライベートと仕事の様子は
こちら ▶



インタビューを終えて… After Talk



田端さん



岩館さん

大学のことや営業職のことをあまり知らなかったけれど、先輩から話を聞いて、これから進路を考えるうえで参考になると思った！大学を選ぶとき、興味があって知りたい、学びたいと思う道に進みたい。

正直、青森を出たいと思っていたから、青森で暮らす良さを実際に先輩に聞いて初めて知れた。将来青森に帰ってくる選択肢もありそう。